第60号

発行日：2020年11月1日
発　行：特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム
（大津市地球温暖化防止活動推進センター）
住　所：〒520-0047 大津市浜大津四丁目１番１号　明日都浜大津４階
電　話：077（526）7545　/　FAX：077（526）7581
フォーラムHP：https://eco-otsu.net
Eメール（事務所）：forum@eco-otsu.net

＜事務局長から＞　晩秋の候、樹々が色づき初めました。コロナ感染予防対策による新しい生活様式も身につき、万全の対応を図りながらの各事業遂行ありがとうございます。後半事業の推進に向けてもさらなるご理解ご協力をよろしくお願いします。加えて、各プロジェクトにおかれましては2021年度委託事業受託に向けご尽力をお願いします。向寒の折、皆様にはご自愛くださいますように。

会員数148名（2020年10月末現在）

■トピックス

○ 自然家族事業 川の日１「大宮川の生きものと水質調べ」を開催しました

9月19日、自然家族事業 川の日１「大宮川の生きものと水質調べ」を開催し、6組16人が参加されました。6月開催の予定でしたが、コロナ禍で延期実施となったものです。

坂本公民館で説明を受け、日吉大社境内の大宮川へ。まず水温を調べ、水を採取した後、みんなで川に入り、生きものを探しました。台風や猛暑の影響で川に入れなかった昨年、一昨年と違い、好天に恵まれたため思う存分生きもの探しができました。見つけた生きものは、河原で写真と見比べて名前を調べました。カゲロウやカワゲラ、ヤゴ、トビケラ、アメンボ、サワガニ、ハヤなどがいました。その後、生きものを川に返して公民館に戻り、見つけた生きものの名前を発表しました。指標生物から大宮川の水質は「きれいな水～ややきれいな水」と確認できました。次は水質検査。においやにごり、そしてpHとCODをパックテストで調べ、大宮川は「きれいな水」であることがわかりました。大津市に残る豊かな自然が確認できました。

○ おおつ市民環境塾 講座４「琵琶湖の全層循環と湖底の酸素」を開催しました

9月26日、ふれあいプラザ中会議室にておおつ市民環境塾2020 講座4「琵琶湖の全層循環と湖底の酸素」を開催しました。会場ではCOVID-19感染防止のため、間隔をあけて20人が着席、加えてアクリル板越しの講演となりました。会場に入れなかった17人にはオンラインで参加いただきました。

講師は、滋賀県琵琶湖環境科学研究センター主任専門員 岡本髙弘氏。長年の観測結果をもとに、琵琶湖の水質、琵琶湖の全層循環（琵琶湖の深呼吸）の仕組み、全層循環未完了が招く問題について解説いただきました。

一時悪化していた水質は琵琶湖全体でみれば改善してきています。しかし、温暖化が進展して湖水温が冬になっても最深部より下がらず、最深部の水が対流できない状況が、昨年、今年と続けて起こりました。最深部に酸素が届かなくなり、生態系や水質に深刻な事態を招きます。温暖化の悪影響が琵琶湖にも迫っています。

○ 自然家族事業 びわ湖の日２を開催しました

10月3日、雄琴湖岸のオーパルにて自然家族事業びわ湖の日２を開催し、申込者162組494人の中から抽選で選ばれた子どもたちとその保護者、25組77人が参加されました。

参加者は2班に分かれ、交代でカヌーと外来魚釣り（幼児は貝ひろい）を体験しました。カヌー体験では、湖岸で漕ぎ方や安全についての説明を受けた後、1～3人でカヌーに乗り、旗を立てた先導艇を追って波静かな琵琶湖へ漕ぎだしました。はじめは前後の漕ぎ手の呼吸が合わなくて思った方向に進めず、なかなか追いつけません。それでも、1時間弱の体験で上手に漕げるようになり、満足気の表情で帰ってきました。外来魚釣り体験では、説明を聞いて釣り始めたものの、釣果は2班あわせてブルーギル1匹。一時期は入れ食い状態だったそうですが、全県挙げての外来魚駆除

の結果でしょうか。小さな子どもたちの岸辺での貝ひろいは、外来魚と違ってタニシ、カワニナ、シジミなど、たくさんの生きものを見つけることができました。オーパルの皆さんの指導で琵琶湖の自然を満喫できました。

○ 逢坂小学校総合的学習支援を行いました

10 月 8 日、逢坂小学校 4 年生 2 クラス 72 人を対象に「吾妻川の水生生物について」の学習支援を行いました。

これまで同校への学習支援では、生徒たちが川に入って生きものを採取していましたが、密になりがちなため、コロナ禍の今年は室内授業です。はじめにパワーポイントで吾妻川の水生生物の話をし、その後、当日の授業前に吾妻川などでスタッフが採取しておいた水生生物を観察してもらいました。生徒たちは川には入りませんでしたが、水生生物実物の観察ができ、みんなが喜んでいました。

■プロジェクト等からの活動報告・お知らせ

≪生ごみリサイクルプロジェクト≫

10 月 23 日、市民活動センターで 8 人が参加し、生ごみ堆肥化資材 EM ボカシを 11 個つくりました。

≪ビオトーププロジェクト≫

10 月 25 日、北大路どろんことーぷを数か月ぶりに整備しました。多くの草が茂り全く別の場所にいるかのような変貌ぶりでした。そのうえ、9 月の大雨で水の流入路が土砂で遮られ、ちょろちょろと流れるだけになっていました。まずは水を流し込む作業を、次に池に水が溜まるように泥を上げ、畔を補修しました。

≪エネルギープロジェクト≫

家庭の省エネ簡易診断で使用する小冊子の在庫が残り少なくなったため、増刷することにしました。増刷にあたっての内容の改定はゼロ電気購入の反映にとどめ、大幅改定は来年度に実施します。

≪里山保全プロジェクト≫

10 月 19 日、春日山公園内のササユリゾーンで、適度に日があたるよう草刈りを行い、プランターで種から育てた 3 年目のササユリを定植しました。

≪環境すごろく作成チーム≫

エコフェスタ 2020 中止の代替に環境すごろくを作成して市立小学校の 4 年生に配布します。エコフェスタ実行チームに市環境政策課も加わっていただいて作成し、原案が固まりました。ネット連携の仕掛けを盛り込んだすごろく本体と解説編で構成します。年内に配布し、冬休みに楽しんでもらえるようにします。

■これからのフォーラム活動

※COVID-19の感染状況により直前に変更になることがあります。

プロジェクト等の名称	日　時	場　所・内　容
プロジェクト		
生ごみリサイクル	12 月 19 日(土)　9：30	市民活動センター〃EM ボカシつくり
ビオトープづくり	11 月　8 日(日)　9：00	春日山ビオトープ〃畔の補修と里山の日①の準備
	11 月 29 日(日)　9：00	春日山ビオトープ〃畔の補修と里山の日①の準備
	12 月 13 日(日)　9：00	北大路どろんことーぷ〃草刈りと池の補修
里山保全	11 月　1 日(日)　9：00	春日山公園〃定例会
	11 月 16 日(月)　9：00	春日山公園〃定例会
	12 月　7 日(月)　9：00	春日山公園〃定例会
	12 月 21 日(月)　9：00	春日山公園〃定例会
エネルギー	11 月 10 日(火)　13：30	市民活動センター〃定例会議
	11 月 17 日(火)　13：30	積水ハウス（株）納得工房〃ZEH 勉強会
	12 月　1 日(火)　10：00	大津市センター〃定例会議
委員会・実行チーム・事業部		
環境すごろく作成チーム	11 月 10 日(火)　15：30	ふれあいプラザ〃会議
おおつ市民環境塾実行チーム	11 月 17 日(火)　10：00	木戸公民館〃「エコ料理教室」試行
	11 月 25 日(水)　10：00	木戸公民館〃「エコ料理教室」
	11 月 28 日(土)　10：00	平野公民館〃「エコ料理教室」
自然家族事業実行チーム	12 月　5 日(土)　9：00	春日山公園〃「里山の日」①　予備日 12 月 6 日
全国ネット補助金事業実行チーム	11 月 10 日(火)　10：30	大津市センター〃責任者会議
里湖づくり事業実行チーム	11 月 13 日(金)　9：30	琵琶湖環境科学研究センター、湖岸〃湖底耕耘
	12 月 11 日(金)　9：30	琵琶湖環境科学研究センター、湖岸〃湖底耕耘
事業部 KES 普及推進グループ	11 月 26 日(木)　13：30	生涯学習センター〃審査員グループ定例会議
	12 月 24 日(木)　13：30	生涯学習センター〃普及推進チーム定例会議

＊大津市センター；大津市地球温暖化防止活動推進センター（明日都浜大津 4F）